

消防団拡大について

質問

皆さん、こんにちは。

最近、子供が元気に挨拶しないということを言われることがあるんですけども、子供は大人の鏡でございます。特に、幹部職員の皆様が元気に挨拶していただくことで、職場を明るくして、吹田市役所を元気にして、そして、市全体を明るくしていただければと思いますので、もう一度、笑顔で明るくお願いいたします。

皆さん、こんにちは。

ありがとうございます。

吹田新選会、足立将一、お許しをいただきまして、個人質問をさせていただきます。

ことは、大雨の影響により、日本各地で土砂災害が発生し、多くの人命が失われました。家屋や農地も被害を受けました。列車の寸断など、交通機関に対する影響も発生いたしました。甚大な被害を見るたびに、改めて自然の驚異を感じます。被災され、今も困難に直面している方々へ、心よりお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々へ深く哀悼の意を表します。また、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

発災時には行政ができることは限られるため、災害に対する備えを市民一人一人がしなければならないと感じるとともに、意識啓発等の御協力を、行政にさせていただきたく存じます。

そんな中、吹田市の防災において非常に喜ばしいニュースがございます。ことしの9月7日に開催された第58回大阪府消防大会のポンプ車操法の部において、吹田市消防団第2小隊が見事優勝されました。ことは2年に1度の全国大会に当たる年で、11月8日には東京で行われます全国大会に大阪府の代表として出場されます。

日ごろの訓練の成果を発揮され、すばらしい結果を残されたことを、非常に喜ばしく感じるとともに、よい形で吹田市の名を全国に出していただくことに、選手の皆様はもちろん、訓練を支えられた団員の皆様及びその家族、消防職員の皆様には感謝申し上げます。市民の皆様にもぜひこのことを知っていただき、応援していただきたく存じます。

さて、この消防団ですが、若い世代では知らない方が多いという実態がございます。そこでまず、消防団は具体的にどのような活動を行っておられるのか。また、市として消防団の必要性についてどのように考えておられるのか、お聞かせください。

村上博之消防長 消防団の具体的な活動につきましては、消防団員はみずからの職業を持ちながら、火災等の災害発生時に24時間態勢で出動されており、災害対応のほか、火災予防運動時の広報活動や年末の警戒活動、日ごろから災害に備えた訓練など積極的に行って

おります。

また、消防団の必要性につきましては阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大災害、近年の局地的豪雨や台風等による災害が各地で頻発し、常備消防機関と同じく消防、防災を担う、地域に密着した重要な活動機関として、市民の安心と安全を守る重要な役割を担っていると考えております。

以上でございます。

質問

ありがとうございます。消防団は特別職地方公務員として、火災や災害発生時に出動され、署員とともに消火等の活動を行われています。その特徴は、構成員が市民であるということところです。そのまちに暮らす人々が組織し、自分のまちは自分たちで守るということのもと活動され、今後、地震等同時多発的に発生する可能性がある災害に備えるに当たり、頼もしい存在でもあります。

しかし、現在、吹田市の定員に対する実数の割合は、大阪府消防協会によれば 77%にとどまっており、近隣の高槻市 88%、茨木市 96%、摂津市 88%、豊中市 94%、池田市 96%、箕面市 97%に比べ、非常に低い状況にあります。まずは 100%を目指し、今後定員自体もふやしていくべきではないかと考えますが、現在、団員加入促進のために市としてどのような取り組みをされているのでしょうか、お聞かせください。

村上博之消防長

消防団員数の拡大につきましては、国においても地域防災体制の確立が課題とされる一方で、少子高齢化の進展、サラリーマンの増加等、社会経済情勢の変化により、全国的に見て消防団員数は減少傾向にあり、昭和 30 年（1955 年）ごろ、全国では 200 万人以上おられた消防団員が今では 90 万人を割る状況になっております。このような状況を考慮し、平成 25 年（2013 年）12 月 13 日に、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が公布、施行され、消防団の加入促進に取り組むように定められました。

吹田市消防団におきましても定数 250 名以内のところ、本年 4 月 1 日現在、実数 192 名で過去 10 年平均は 200 名前後で推移しております。

団員の募集につきましては、市報すいたやケーブルテレビなどにより年間を通じて公募するとともに、各分団が日ごろから地域に根差した活動をする中で、地域または団員の紹介で新入団員の確保に努めており、特に不足する昼間時間帯の団員確保のため、平成 25 年（2013 年）8 月からは、市内在勤者の入団も始め、新たな取り組みを行っております。今後とも国や近隣市の動向を見据え、魅力ある消防団への加入促進に向け、消防団本部と連携を図りながら組織力アップを図ってまいります。

以上でございます。

質問

ありがとうございます。入団のきっかけとして、各団員さんの御努力による勧誘もございますけども、最近、市のホームページをごらんになって入団される方もおられるようです。今後、ホームページの充実や、市の施設への積極的なポスター掲示など、周知とともに団拡大に力を入れてはどうかと考えますが、いかがでしょうか。

また、退職された消防署員の入団勧奨も積極的に行っていただければと思いますが、いかがでしょうか。

村上博之消防長

議員御指摘のとおり、消防本部では、現在ホームページにて消防団員募集について掲載しておりますが、今よりも検索しやすくなるように努めてまいります。また、募集ポスターの充実等にも取り組んでまいります。

消防職員のOBにつきましては、今のところ諸問題がありますので、また今後検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

意見

ぜひ検討いただければと思います。緊急時用の屋外拡声機増設や災害発生時の際の情報収集一元化のためのクラウドシステムの構築、避難所等に耐災害性の高い公衆無線LANの整備など、これまでハード面の提案をさまざまさせていただきましたが、ことごとく市長は予算をつけられませんので、ソフト面だけでも、まずは力を入れていただければと思います。

なお、これは要望にとどめますが、先ほど申し上げました消防大会での優勝や、先日、教育委員会により表彰が行われた青少年の活躍など、市民の活躍を市としてもっとアピールしてはいかがかと思えます。現在も部長ブログ、さつきダイアリーですかね、では書いていただいておりますが、ホームページ上に吹田の誇りというようなページを作成し、市民や職員の活躍を一元化して、どんどん広報すべきだと思えますので、広報課のほうで、ぜひ御検討いただければと思います。